

平成 20 年 度 教 育 研 究 業 績 書

氏名 林 郷子

最終学歴

1999年3月 京都大学大学院教育学研究科臨床教育学専攻博士後期課程単位取得満期退学

取得学位

教育学修士

所属学会

日本心理臨床学会 日本箱庭療法学会

現在の専門分野

臨床心理学

研究課題

思春期の心理臨床に関する研究

【研究上の特記事項】

【教育上の特記事項】

【社会的活動】

平成20年度公開講座「心理学から見た“こころの発達”について」第一回「思春期：自分づくりの過程の中で」（2008年11月）/斑鳩町「地域子育て支援センター事業」講師/大和高田市「発達支援活動者間のネットワーク構築事業」発達アドバイザー

【学内活動】（学内職歴を含む）

国際交流委員会委員 ホームページ委員 実習室管理委員 広報委員 学部内教務委員 学生相談員 臨床心理クリニック相談員

著書、学術論文等の名称	単著、共著の別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は発表学会等の名称	概要
(著書) 「発達障害」と心理臨床	共著	2009年3月	創元社	第2章プレイセラピー・心理療法の中の「『壊す』ことと『直す』ことをめぐるセラピストの感情体験について アスペルガー障害の小学校低学年の男児の事例から」を担当。(p112-121)
(学術論文) 来談経路と主訴から見る相談の様相	単	2008年10月	京都市教育相談総合センターカウンセリングセンター紀要, 3	「親面接」という枠組みや公共教育相談機関としての枠組みが、治療を守る要素としても治療のプロセスを妨げる要素としても働きうることを論じた。P110-123
臨床的態度の育成について～言葉の底にあるものへの視点～	単	2009年3月	奈良大学臨床心理クリニック紀要, 創刊号	臨床家教育において、ノン・バーバルなものやイメージを活用することの有用性について、心理療法等の事例を取り上げて検討した。p7-13
(その他) 大学生の“悩み”に関する一考察	単	2009年3月	奈良大学学生相談室報告書, 15	大学生の悩みの特徴について、高校生と比較しつつ検討し、支援の方向性を探った。p27-36
2008年度 奈良大学臨床心理クリニック 公開講座「子どものこころの理解と対応」第2回 テーマ「不登校」の企画につ	単	2009年3月	奈良大学臨床心理クリニック紀要, 創刊号	公開講座の企画について、講演内容や参加者へのアンケート結果をまとめ、報告を行った。p59-61
援助者の「無力感」について	単	2009年3月	地域臨床ボランティア研究会報告書, 3	ボランティア活動を行う学生が抱きやすい「無力感」について、主に学校支援活動を取り上げてその意味を考察した。(印刷中)